

◎ 病院事業

◇ はじめに

平成30年度は、“新しい加西病院に生まれ変わる第一歩を踏み出そう”を病院目標に掲げ、より効率性を高めた経営に努めました。当院は、国の医療制度改革や、二次医療圏域内の各病院の機能分担が進む中で、急性期医療に重点を置いた病院形態から、近隣病院との機能分担・医療連携を図る地域多機能型病院として新たなニーズに応えていくことにしました。また、将来の人口動向や高齢化等を見据え、より安定的な医療提供を継続的に行っていくため、病院機能や施設の建て替えを検討する「市立加西病院将来構想検討委員会」設置し、加西病院の将来のあり方の検討を開始しました。

診療面では、高度急性期医療は大病院に任せつつ、地域ニーズにあった必要とされる急性期医療や専門的な医療の維持・提供、断らない救急対応、回復期医療の充実、経過観察入院や看取りなど、介護施設や在宅への支援強化や診療所との連携強化を図りました。

人員体制については、医師の異動により神経内科常勤医師が2名減となりましたが、内科医4名の追加採用に努めるなど医師の充実を図りました。看護部は、昨年度に引き続き人員の適正化を進めるため退職不補充とし、入院患者の高齢化に対応して一部介護福祉士の採用に充てました。

施設・設備については、必要なものに限定して更新を行い機能の維持に努め、設備は、懸案であった電子カルテシステムの更新を中心に設備の充実を図りました。

項 目		30 年度決算	29 年度決算	対前年度	
				増 減	比 較
年間延患者数	(入院)	70,279 人	69,717 人	562 人	100.8%
	(外来)	120,765 人	122,574 人	△1,809 人	98.5%
一日平均患者数	(入院)	192.5 人	191.0 人	1.5 人	100.8%
	(外来)	494.9 人	502.4 人	△7.5 人	98.5%
稼動病床利用率(一般病床)		74.1%	73.5%	0.6%	100.8%
平均在院日数		15.6 日	16.2 日	△0.6 日	96.3%

2 経理の概況

平成30年度の収益的収支は、病院事業収益が、5,285,319千円で前年度に比べ162,212千円(3.0%)の減収となり、病院事業費用は、5,644,115千円で前年度に比べ24,774千円(0.4%)の減少となり、当年度純損益は、前年度に比べ137,438千円減少し、358,796千円の当年度純損失を計上しました。

一方、資本的収支では、資本的収入が621,322千円で前年度に比べ302,023千円(94.6%)の増収となり、資本的支出は777,683千円で前年度に比べ319,529千円(69.7%)増加し、156,361千円の収支不足が生じましたが、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補っています。

平成30年度 加西市病院事業損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：円)

1	医業収益			
(1)	入院収益	3,081,165,770		
(2)	外来収益	1,225,517,553		
(3)	他会計負担金	255,144,000		
(4)	その他医業収益	<u>202,058,702</u>	4,763,886,025	
2	医業費用			
(1)	給与費	3,400,268,601		
(2)	材料費	840,033,966		
(3)	経費	869,814,992		
(4)	減価償却費	299,808,620		
(5)	資産減耗費	29,488,811		
(6)	研究研修費	<u>21,209,692</u>	5,460,624,682	
	医業損失			696,738,657
3	医業外収益			
(1)	受取利息配当金	17		
(2)	負担金交付金	475,894,000		
(3)	患者外給食収益	239,992		
(4)	補助金	10,707,500		
(5)	長期前受金戻入	5,034,417		
(6)	その他医業外収益	<u>28,492,357</u>	520,368,283	
4	医業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	36,158,635		
(2)	長期前払消費税償却	10,235,075		
(3)	患者外給食材料費	1,160,268		
(4)	雑損失	<u>131,208,815</u>	178,762,793	341,605,490
	経常損失			355,133,167
5	特別利益			
(1)	固定資産売却益	0		
(2)	その他特別利益	<u>1,065,211</u>	1,065,211	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	1,310,028		
(2)	その他特別損失	<u>3,417,728</u>	4,727,756	△ 3,662,545
	当年度純損失			358,795,712
	前年度繰越欠損金			6,145,671,430
	当年度未処理欠損金			<u>6,504,467,142</u>

(4) 前 払 費 用		719,660	
流動資産合計			781,310,046
資産合計			3,918,889,913
	負債の部		
3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	2,540,603,278		
企業債合計		2,540,603,278	
(2) リース債務		3,139,344	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	718,171,263		
引当金合計		718,171,263	
固定負債合計			3,261,913,885
4 流動負債			
(1) 一時借入金		570,000,000	
(2) 企業債			
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	301,383,298		
企業債合計		301,383,298	
(3) リース債務		876,096	
(4) 未払金		372,845,729	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	168,776,000		
ロ 法定福利費引当金	31,884,000		
引当金合計		200,660,000	
(6) 預り金		26,140,223	
流動負債合計			1,471,905,346
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 補助金	96,997,000		
ロ 工事負担金	29,822,286		
ハ 寄附金	27,426,561		
ニ 受贈財産評価額	1,239,596		
長期前受金合計		155,485,443	

(2) 長期前受金額			
イ 補 助 金	△	76,829,374	
ロ 工 事 負 担 金	△	19,364,376	
ハ 寄 附 金	△	26,055,234	
ニ 受 贈 財 産 評 価 額	△	1,173,117	
長期前受金額			<u>△ 123,422,101</u>
収益化累計額合計			
繰延収益合計			<u>32,063,342</u>
負債合計			<u>4,765,882,573</u>
	資 本 の 部		
6 資 本 金			5,636,484,979
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額		<u>19,876,782</u>	
資本剰余金合計			19,876,782
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金		1,112,721	
ロ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金			
繰越欠損金年度末残高	6,145,671,430		
当 年 度 純 損 失	<u>358,795,712</u>	<u>6,504,467,142</u>	
利益剰余金合計			<u>△ 6,503,354,421</u>
剰 余 金 合 計			<u>△ 6,483,477,639</u>
資 本 合 計			<u>△ 846,992,660</u>
負 債 資 本 合 計			<u>3,918,889,913</u>